

日清製粉グループ 連結決算、次期連結業績予想

当期の営業利益は478億円で業績予想を上回る着地。

次期業績予想は前期並の480億円を見込む。

当期配当は前期より5円増配、次期はさらに5円増配の予定。

[2024年3月期連結決算]

売上高	8,582億48百万円	(前期比107.5%)
営業利益	477億91百万円	(前期比145.6%)
経常利益	499億92百万円	(前期比151.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	317億43百万円	(前期比 — %)

(株)日清製粉グループ本社(取締役社長:瀧原 賢二)の2024年3月期の連結業績につきましては、売上高は、製粉事業における小麦粉価格改定の実施や熊本製粉株式会社の新規連結効果、食品事業や中食・惣菜事業での製品価格改定の実施等により、8,582億48百万円(前期比107.5%)となりました。利益面では、各事業において前期のコスト上昇に価格転嫁が後追いとなった部分も含めた価格改定の実施に加え、国内製粉事業における副産物のふすま販売価格の堅調な推移及び熊本製粉株式会社の新規連結効果、豪州製粉事業の前期の減損損失計上に伴うのれん等の償却費の減少、食品事業の業績回復及び中食・惣菜事業の堅調な業績等により、営業利益は477億91百万円(前期比145.6%)、経常利益は499億92百万円(前期比151.3%)、親会社株主に帰属する当期純利益は317億43百万円(前期は103億81百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。

なお、当期の配当につきましては、前期より5円増額の1株当たり年間45円を予定しております。

[2025年3月期通期連結業績予想]

売上高	8,500億円	(前期比 99.0%)
営業利益	480億円	(前期比100.4%)
経常利益	500億円	(前期比100.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	330億円	(前期比104.0%)

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高は、国内製粉事業における輸入小麦の政府売渡価格引き下げに伴う業務用小麦粉の価格改定や海外製粉事業における小麦相場の影響等による減収を食品事業における増収でカバーし、前期並の8,500億円(前期比99.0%)、営業利益は、各事業において動力費、労務費等コスト上昇の影響があるものの、食品事業の出荷伸長による増益ならびに、豪州製粉事業やインドイースト事業での業績回復施策等による増益等により、480億円(前期比100.4%)、経常利益は500億円(前期比100.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益は330億円(前期比104.0%)としております。

なお、次期の配当につきましては、当期よりさらに5円増額の1株当たり年間50円を予定しております。